

02 会長からのメッセージ
土木技術者への信頼、土木技術者としての覚悟
小野 武彦 土木学会第100代会長

連載

- 04 見どころ土木遺産 第103回
大源太川第1号砂防堰堤
—曲線美を誇る矢羽積アーチ式砂防堰堤—
神山 藍 金沢工業大学 講師
- 30 海の向こうの仕事から 第2回
民間資金で動く東南アジアの巨大都市開発事業
秋山 晴樹 (株)長大顧問
- 32 学生が行く! 土木のお仕事 第2回
ダム の再開発をひもとく! (青森・津軽ダム:人物編)
山谷 正樹氏 国土交通省東北地方整備局 津軽ダム工事事務所工事課 工事第一係長
加藤 雅一氏 (株)間組 津軽ダム出張所工事係
- 34 土木学会を知ろう —委員会の紹介 第2回
海洋開発委員会
柴山 知也 早稲田大学 教授
五明 美智男 千葉工業大学 教授
- 38 Studying Abroad No.2
ブラッドフォード大学留学記
—平和構築と紛争経験地へのスタディ・ツアー—
今福 蘭 (株)オリエンタルコンサルタンツ
- 39 この本を薦めます 第2回
山本 卓朗 土木学会第99代会長

学会情報

- 40 論説委員の頁
藤本 貴也 大西 博文
- 42 土木学会の動き
42 お知らせ 土木学会書籍の在庫処分のお知らせ
44 お知らせ 土木学会フェロー会員認定者のご案内
45 討 報 名誉会員 榎木亨先生のご逝去を悼む
- 46 ニュース
「本間仁先生思い出集」のホームページ開設
- 47 新刊紹介 / 48 会員入退会
49 土木学会論文集目次 / 50 会告情報欄 / 53 モニターの声
58 次号目次(予定) / 58 PR欄目次
59 土木学会会員の方へお知らせ / 60 本部分行事参加申込書
61 図書・試験器等購入注文書

付録

平成25年度全国大会 第68回年次学術講演会
実施要領(抜粋)

Vol.98 no.2 February 2013

- 02 Message from the President
ONO Takehiko
- 04 Admiration of Civil Engineering Heritages by JSCE: Civil Engineering Heritage Sites Selection:Daigenta No.1 Sabo Dam: The beauty of Yabane stone masonry arch dam
KAMIYAMA Ran
- 06 Feature articles:
Thinking about the Super-Aged Society - The Role of Civil Engineering for Building a Sustainable Society -
08 A new epoch, "Super-Aged Society" - the challenges and the role of civil engineering
AKIYAMA Hiroko, KANDA Masayuki, KONDO Toru, MATSUTANI Akihiko
- 12 Participatory community development toward a better Super-Aged Society - The role of civil engineering in the reconstruction of social infrastructure -
KOMIYAMA Hiroshi
- 14 The Problems of a Super-aged Society and the Routes to the Livable Cities
DOI Tsumoto
- 18 Public Residential Lease System and Its Implication to Civil Engineering
OHGAKI Hisashi
- 20 Conservation of upstream areas in a Super-Aged society
TAKAHASHI Yutaka
- 22 Policies for depopulated regions - Transition from infrastructure development to public service provision
FUKUSHIMA Hiroshi
- 24 To create a community where everyone has his/her own roles -community development through citizen participation in Nagakute city, Aichi-
YOSHIDA Ippei
- 26 Super-Aged society of Japan -Lessons from historical demography -
KITO Hiroshi
- 28 Further Study
- 30 Working Abroad:One Method for Infrastructure Development in South Asia
AKIYAMA Haruki
- 32 My life as Civil Engineer: Vol.2
[Tsugaru Dam in Aomori Prefecture, Japan] (Careers and Professional Minds) , Unveiling features of re-development of a dam
MIMURO Aoto, SHINOZAKI Masumi
- 34 Committee report
Committee on Civil Engineering in the Ocean
SHIBAYAMA Tomoya, GOMYO Michio
- 38 Studying Abroad
Studying Abroad in University of Bradford -Peace building and Study tour to Conflicted place-
IMAFUKU Mayu
- 39 Book review
42 JSCE Updates
46 News
47 New books
49 New Paper on J-STAGE
50 JSCE Calendar
53 Opinions
58 Next Issue

■今月の表紙

技術の手触り

三角西港 (熊本県宇城市)

文・写真: 八馬 智 HACHIMA Satoshi
図面出典: Mulder, "Over een drietal zeestraten in den Japanschen archipel", in "Tijdschrift van het Koninklijk Instituut van Ingenieurs", 1892

土木学会・土木の日実行委員会では、土木の魅力や奥深さを一般市民に実感していただくことを目的に、2008年から土木構造物の貴重な歴史資料や図面、写真などを展示する「土木コレクション」を日本各地で開催している。実際の展示では、きわめて緻密に描かれた大判の図面を、あたかも美術作品のようにじっくり鑑賞することができる。「技術の手触り」シリーズは、その一端を異なる形式と媒体で表現しようとする試みである。今号では、有明海と不知火海が結節する海域に築かれた三角西港^{みづま}に迫る。

明治維新後の新政府は、アジア地域で植民地を拡大させていた列強諸国の社会システムや各種技術を半ば強引に適合させるといふ、現在では考えられない大胆な国家戦略により、急激な近代化を断行した。その実現のためにさまざまな国から第一級の人材が破格の好待遇で招聘され、彼らは「お雇い外国人」としてそれぞれの方面で近代日

特集

06 超高齢社会を考える

—持続可能な社会の実現へ向けた土木の役割とは—

08 座談会「超高齢社会」という新時代 —その課題と土木の役割—

〔座談会メンバー〕

秋山 弘子 東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授

神田 昌幸 富山市副市長、前国土交通省まちづくり推進課 室長

近藤 徹 土木学会第97代会長、応用生態工学会会長

松谷 明彦 政策研究大学院大学 名誉教授

12 インタビュー 良い超高齢社会へ、参加型社会づくりを

—社会インフラ再構築に土木工学の出番—

〔語り手〕 小宮山 宏 (株)三菱総合研究所 理事長 ブラチナ構想ネットワーク 会長 東京大学 総長顧問

14 基調論文 超高齢社会の課題と安寧の都市への道筋

土井 勉 京都大学大学院工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット、副ユニット長、特定教授

18 住宅の賃貸価値を活用して人の移動を促進 —公的住みかえ支援制度の展開—

大垣 尚司 立命館大学教授、同金融・法・税務研究センター長、(一社)移住・住みかえ支援機構 代表理事

20 超高齢社会における河川上流域の保全のあり方

高橋 裕 東京大学 名誉教授

22 超高齢社会における過疎対策 —ハード事業からソフト事業重視へ—

福島 浩 総務省自治行政局 過疎対策室企画係長

24 インタビュー 住民自身が考えて決める、“立つ瀬^{たつき}がある”まちづくり

〔語り手〕 吉田 一平 長久手市長

26 歴史人口学から見た超高齢社会 —人口減少はピンチではなくチャンス—

鬼頭 宏 上智大学経済学部 教授

28 特集関連資料の紹介 超高齢社会をより深く知るために



本 の 礎 を 築 き 上 げ た。
1887(明治20)年に竣工した三
角西港は、わが国で最初期の本格的近
代港湾であり、オランダから来日した
技師のローウェンホルスト・ムルデル
(Rouwenhorst Mulder)により計画・
設計された。埠頭や岸壁だけでなく、
後背地の土地利用計画の骨格をなす
道路や排水施設なども一体的に整備さ
れた。それらには肥後・熊本のお家芸
とも言える高度な石造技術がふんだ
んに用いられ、現在もその魅力的な姿
をとどめている。つまり、西洋の近代
技術と日本の伝統技術が融合した港
湾なのである。
表紙の写真は浮棧橋が設置されて
いた埠頭の石積み細部の裏表紙はム
ルデルによる平面図と埠頭構造図から
なるカラージュエである。公園として再
整備されている現地には、ムルデル(ム
ルドルと表記)への敬意が溢れている。